

# キッピッピ

三田市立図書館



2020年



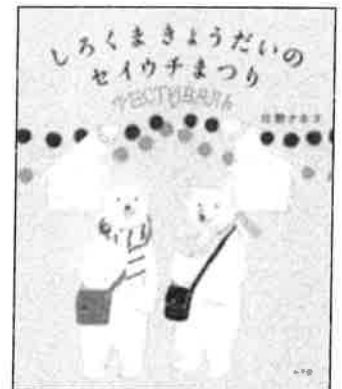
あたらしい本がはいったよ

## しろくまきょうだいのセイウチまつり

庄野 ナホコ / 作

小学館 2020年1月 Eシヨ

きょうは、しろくまのきょうだいのトーリヤとパーフカが  
とつてもたのしみにしているセイウチまつりの日。でも  
いもうとがねつを出してしまい、おまつりにはいけな  
いとおかあさんがいうのです。どうしてもいきたいふたり  
は、おかあさんにないしょでしゅっぱつしますが…。



## おわんわん

乾 栄里子 / 作 100%ORANGE / 絵

ひさかたチャイルド 2020年1月 Eヒヤ



いぬのかたちをしたおわんのおわんわんはあそぶの  
がだいすき！きょうもおそとで、かえるさんやこぶ  
た、うさぎたちとげんきにたのしくあそびます。  
「おかえりー」「ただいまー。あーたのしかつ  
た。」さて、おわんわんがかえってねむるおうち  
は いったいどこでしょう？

《本館》<sup>むし</sup>虫さんでておいで

さむ〜い冬<sup>ふゆ</sup>がおわり、あたたかくなってきましたね。とうみんなしていた虫<sup>むし</sup>たちもそろそろ起きる時間！花<sup>お</sup>から花<sup>じかん</sup>へとびまわるちよちよや小さな虫<sup>はな</sup>を見つけに行きましょう！

だんごむし そらをとぶ

松岡 達英 / 作

小学館 2000年7月 Eマツ



ぼく、だんごむし。まいにちじめんのかれはばかりたべているんだ。だから、そらをながめておもうんだ…。ぼくもそらをとびたいなって…。ある日、ぼくはとんぼさんのはねでそらとぶマシンをつくることに…。ぼくはこうさくはとくい！きつとうまくとべるはず！

《ウディタウン分館》<sup>さんだしりつ としょかん</sup>三田市立図書館おめでとう

三田市立図書館30周年記念として、図書館、三田、祝い事の本をあつめます。

くわばらくわばら<sup>きんしょうじ</sup>欣勝寺

三田の民話・紙芝居編集委員会、三田市教育委員会 / 作  
三田市 1992年 Kク

あわてんぼうの雷<sup>かみなり</sup>の子どものかみしばい<sup>こ</sup>です。三田市電子図書館<sup>さんだしでんし としょかん</sup>にもものっています。



《藍分室》はるはどこにきたのかな

なんだかぽかぽかと、あたたかくなってきましたね。おさんぽして、はるをみつけてみましょう。

ふうとはなとたんぽぽ

いわむら かずお / さく  
童心社 2011年4月 Eイワ

こ  
子うさぎのふうとはなが、のはらにあそびにいきました。ふたりはたんぽぽのそばで、虫<sup>むし</sup>たちとおはなしをはじめます。





# みつけたよ！<sup>ほん</sup>こんな本



## <sup>くろ</sup>黒ネコジェニーのおはなし① ジェニーとキャットクラブ

エスター・アベリル／作者 松岡 享子、張替 恵子／訳者  
福音館書店 2011年10月 Gアヴ



ジェニー・リンスキーは、<sup>ちい</sup>小さな<sup>くろ</sup>黒ネコの<sup>おんな</sup>女の子。ジェニーのものがたりは、「ジェニーがキャット・クラブにはいるはなし」からはじまります。キャット・クラブのなかまたちは、みんなとても<sup>こせい</sup>個性ゆたか。はにかみやのジェニーですが、みんなにメンバーとしてみとめてもらうため、<sup>ゆうき</sup>勇気をだしてがんばります。

## <sup>はいく えほん</sup>めくってびっくり俳句絵本① <sup>あじ た もの はいく</sup>てのひらの味 食べ物の俳句

村井 康司／編 とくだ みちよ／絵  
岩崎書店 2009年11月 911/ムラ



<sup>ご</sup>五・<sup>しち</sup>七・<sup>ご</sup>五のリズムが<sup>たの</sup>楽しい俳句は、<sup>はいく</sup>世界でいちばん<sup>せいかい</sup>短い<sup>みじか</sup>詩です。この本が<sup>ほん</sup>紹介してくれるのは、すべて「<sup>た</sup>食べ物」が<sup>もの</sup>うたわれた<sup>はい</sup>俳句。めくってひろがる<sup>いろ</sup>色とりどりのイラストといっしょに、<sup>いっく</sup>ぜひ一句一句、<sup>あじ</sup>味わってみてください。



## <sup>と</sup>と <sup>しよ</sup>しよ <sup>かん</sup>かん <sup>いん</sup>いん <sup>き</sup>き <sup>い</sup>い 図書館員のお気に入り♪

### 「しろいうさぎとくろいうさぎ」

ガース・ウィリアムズ／文・絵 まつおか きょうこ／訳  
福音館書店 1965年6月 Eウイ

しろいうさぎとくろいうさぎが<sup>もり</sup>森の<sup>なか</sup>中にすんでいました。二匹は<sup>に</sup>仲よく<sup>なか</sup>あそんでいるのですが、しばらくすると、くろいうさぎが<sup>かお</sup>かなしそうな顔をしてしまいます。何かを<sup>なに</sup>かんがえているようです。くろいうさぎはある<sup>ねが</sup>願いごとをしていました…。<sup>ねが</sup>願いごととはかなうのでしょうか。おちついた<sup>いろ</sup>色と<sup>え</sup>絵がやさしい、<sup>こころ</sup>心が<sup>えほん</sup>あたたかくなる絵本です。

# 今月の紙しばい

## ありがとう げんきでね

やすい すえこ / 脚本 小泉 るみ子 / 絵  
 童心社 2019年3月 Kア



あしたはけいくんのそつえんしき。おじいちゃんもけいくんとおなじなかよしえんにかよっていました。おじいちゃんはまいにちさくらの木にのぼってあそんでいました。そこでけいくんが、さくらの木におねがいすると、なんとおじいちゃんがこどもにもどったのです。二人はさくらの木にのぼったり、うたをうたったりいっぱいあそびました。するといつのまにかおじいちゃんが…。

なるほど!

# いきものまめちしき



こんげつ  
 今月は  
 ウグイス  
 だよ

はる 春になると、とり 鳥たちのさえずりがにぎやかにきこえてくるようになりますね。「ホーホケキョ」とないているウグイスをしてみてください。



ウグイスは、りゅうちょう 留鳥といってふゆ 冬もにほん 日本でくらしています。ふゆ 冬は「チャ、チャ」としたう 舌打ちをするようなごえ 声でなきます。このなごえ なき声をじな 地鳴きといい、「ホーホケキョ」となくことをさえずりといいます。



ウグイスのす 巣はやぶのなか 中のひくいところにささの葉をみつめてつくられます。す 巣づくりからこそだ 子育てまで、すべてメスがします。

参考文献 「野山の鳥を観察しよう! 山や森・草原・まちの鳥」  
 飯村 茂樹 / 著者  
 PHP研究所 2017年7月 488/17